

# きれい館から こんにちは

◆置いてある場所◆野木町役場（入口）、図書館、公民館、ホフマン館  
工ニスホール、ホープ館、野木駅など

野木町ボランティア支援センター  
きれい館

★開館時間 火～土 9:00～17:15  
日・祝 9:00～17:00

★休館日 月曜日・年末年始  
URL <http://kirarikan.msaas.jp/>  
メール [kirarikan@pearl.ocn.ne.jp](mailto:kirarikan@pearl.ocn.ne.jp)

〒329-0101 野木町大字友沼4930-1  
tel 0280-23-1231 fax 0280-23-1232

## きれい館主催事業 英会話講座

### 受講者のみなさん レベルアップで 大満足!!!

2019年きれい館英会話講座は、定員24名で、6月4日にスタートしました。毎週1回、全25回行い、11月19日に終了しました。半年間に及ぶ長期の講座です。講師は、古河市GOEIGO ミッションスクールの先生です。

25回の講座全て受講した方が2名いらっしゃいました。受講生の平均出席数は、19回です。

講座最終日にアンケートをとりました。その結果を紹介します。

〈講座の満足度〉	とても満足	やや満足	普通	やや不満	とても不満
	68.4%	31.6%	0%	0%	0%

アンケートに答えてくれた人全員が、とても満足、やや満足のどちらかでした。満足度100%です。

#### 〈満足度の理由〉

- 自分自身のレベルアップが出来たと思います。 ・ 毎週楽しく学ぶことができました。
- 先生もとてもわかりやすく教えてくださり、大変勉強になりました。
- 直接外国の方と話す機会を得たことで、普段と違う体験ができ、英会話を学びなおすきっかけになりました。
- 毎週1時間30分、外国の先生からレッスンを受けることが出来て、英語を話す機会が持てたのでとても満足でした。
- アメリカ国籍の先生は、教え方が上手でとても楽しかったです。日本語も勉強されていて、感心しました。そのため、余計わかりやすかったです。
- とても楽しく教えていただいて、とても良かったです。

#### 〈受講全体の感想〉 (良かったところ、改善を希望するところなど)

- 先生が非常に熱心に教えてくださり、話す機会が多くありました。 ・ まじめで、どんな事でも答えてくれました。
- 始めの頃は、講師が毎回のように変わっていて、進め方も色々だった。講師は、ある程度続けて担当してほしい。
- 最終日に、お二人の先生が素晴らしい歌声でお別れの歌をプレゼントしてくれました。心が洗われる思いでした。
- 続きの講座をお願いしたいです。 ・ インストラクターに対して感謝いたします。

#### 〈講師からの感想〉 The class was so kind and intelligent! It was very fun!

(このクラスは、とても親切で知的だった。非常に楽しかった。)



## 千住宿歴史さんぽ

# 歴史の生々しさを感じた一日!

のぎ・歴史を歩こう会が発足してから今年で東京下町シリーズ8回目、11月13日に行われた「千住宿歴史さんぽ」の参加者の声をご紹介します。

今回の千住宿歴史さんぽコース



南千住駅スタート→①延命寺→②回向院→③円通寺→④旧千住製絨所煉瓦塀跡→⑤荒川ふるさと文化館→⑥素戔雄神社→⑦熊野神社→⑧千住大橋→⑨橋戸河岸→千住市場(昼食)・やっちゃば→⑩源長寺→⑪掃部宿→⑫一里塚跡・高札場跡→⑬慈眼寺→⑭不動院→⑮問屋場跡→⑯金蔵寺→⑰本陣跡→⑱横山家住宅→⑲長円寺→ゴールの北千住駅

### 《参加者の声〜!!》

◆隅田川を遊行する歴歩の旅は、我が野木町へ続く日光街道の日本橋から最初の宿場、千住宿で終る由。歴歩としては致し方ないのかもしれないが、隅田川の終わり岩淵水門まで歩いてみたい気もする(見るべき所が無いのかも知れないが)。

本隅田川シリーズの最初から参加はしなかったが、第一に印象に残ったのは各種橋梁である。江戸時代からの千住大橋、両国橋のほか道路、鉄道などの各種の橋、用途・時代は違えどもそれぞれ風情があった。隅田川の両岸地域は、江戸時代以来の、大火、地震、戦災などの犠牲者の慰霊の地であるとともに、人々の一年を通じての、季節ごとの、行事ごとの、遊興の地であり、また信心のための聖地でもあったような気がする。また、隅田川は、物資集散人の往来のための重要な交通手段であることは現在でも同じことだと思われる。(野木のヤギさん)

◆千住の歴史さんぽは、曇り空でしたが、風も無く、初冬の良い日でした。

延命院の小塚原刑場跡は、旧日光街道千住宿“の手前にあり、ここで20万人も処刑されたなんて、気分が悪くなりました。ここでの腑分けが解体新書の出版につながったのです。

円通寺に入ると、上野寛永寺から移築された黒門があり、無数の弾痕がありました。上野の山の戦闘で亡くなった彰義隊員が埋葬されています。戦いのはげしさを残していました。

不動院や金蔵寺には遊女の供養の無縁塔があり、弔う縁者のいない死者になってしまった女達のあわれさを思いました。

長円寺では、ペンライトで照らし出された可愛いらしい魚藍観音像に、心を癒やされました。

帰りの千住の商店街は、コロック屋さん、和菓子屋さん、靴屋さん、カバン屋さん、花屋さん等々小さなお店がいっぱい並んでいて、うれしくなりました。(ローズ・フロアール)

◆東京の下町の趣や歴史に触れられて、とても楽しかったです。カルハナさんのお話はとてもわかりやすく、いつも引き込まれてしまいます。どんなに歩いても疲れを感じません。市場の事をとても気にされていましたが、私達参加者に”より多く、というカルハナさんのお気持ちとお人柄を感じました。古き良き時代の姿を残した千住宿を満喫しました。最後に四国八十八ヶ所参りも出来て大満足です。有難うございました。(リリー)



素戔雄神社にて